

科目名	海外プランニング実務											
科目名(英)	Overseas Planning											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		高橋 榮二			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		旅行会社にて、旅行企画及び法人営業に従事			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	海外企画・手配旅行の商品からプランニングの基礎を学び、アジア・アメリカ・ヨーロッパの観光資源を理解する。 学内の コンテストへ向けて、独創的な魅力ある商品づくりにチャレンジする。											
授業形式	講義： △		演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					世界各国、方面ことの特長を説明できる。						
		○				具体的な方面を決めて、旅行プランを作成できる。						
		○		○		作成したプランについて、セールスポイントを説明できる。						
テキスト・教材 参考図書	海外企画商品パンフレット											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	海外プランニングの概要、企画・手配旅行の現状					授業で使用した資料の復習(0.5時間)					
	2	アジアの観光資源・主要各国の特性					授業で使用した資料の復習(0.5時間)					
	3	アジアの旅程作成①、コースとセールスポイント					アジアの概要を予習(0.5時間)					
	4	旅程①のフィードバック、旅程②作成					フィードバック内容の確認(0.5時間)					
	5	北米(アメリカ・カナダ)の観光資源・各国の特性					授業で使用した資料の復習(0.5時間)					
	6	北米(アメリカ・カナダ)の旅程作成①、コースとセールスポイント					アメリカ・カナダの概要を予習(0.5時間)					
	7	旅程①のフィードバック、旅程②作成					フィードバック内容の確認(0.5時間)					
	8	ヨーロッパの観光資源・主要各国の特性					授業で使用した資料の復習(0.5時間)					
	9	ヨーロッパの旅程作成①、コースとセールスポイント					ヨーロッパの概要を予習(0.5時間)					
	10	旅程①のフィードバック、旅程②作成					フィードバック内容の確認(0.5時間)					
	11	学内コンテスト企画書作成					企画内容の検討(1時間)					
	12	学内コンテスト企画書作成					企画内容の検討(1時間)					
	13	学内コンテスト企画書作成					企画内容の検討(1時間)					
	14	学内コンテスト企画書作成					企画書の仕上げ(1時間)					
	15	まとめ					授業全体の振り返り(1時間)					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)企画書を作成する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)	○		◎								50%
	企画書作成			◎				○				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない											

科目名	Web制作・販売						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	三笥秀一郎
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	旅行会社にて商品企画販売に従事。Webクリエイター資格所持
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	オンラインサービス、オンラインでの商品販売化が進む社会、業界に対応すべく、Webサイトのしくみやテクニックの基礎を学ぶことは重要である。HTMLやCSSなどの言語を用いて、Web制作に必要な手法や知識の基礎の習得を目指す。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					基本的なWeb分野の知識を理解し、関連する専門用語を説明できる。	
		○				Webサイトの構成を理解し、考え、構築までできる。	
			○			HTMLやCSSの言語を学び、サンプルWebサイトを作成することができる。	
テキスト・教材 参考図書	担当教員作成の資料プリント等						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	Webサイトの全体像					
	2	用語の理解					授業内容を復習し、わからない用語等は調べておくこと(1時間)
	3	Webサイト制作の流れ					授業内容を復習をしておくこと(0.5時間)
	4	Webサイト制作の前準備					次回授業までに準備作業を完了させておくこと(1時間)
	5	HTMLの基本理解(基本タグ)					授業内容を復習し、わからない部分の質問を準備しておくこと(1時間)
	6	HTMLの基本理解(ページタイトル、文書の基本記述)					次回授業までに制作作業を完了させておくこと(1時間)
	7	Webページ作成(見出し、箇条書き)					次回授業までに制作作業を完了させておくこと(1時間)
	8	Webページ作成(段落、改行、情報分け)					次回授業までに制作作業を完了させておくこと(1時間)
	9	Webページ作成(画像の埋め込み)					次回授業までに制作作業を完了させておくこと(1時間)
	10	サブページ作成(表の作成)					次回授業までに制作作業を完了させておくこと(1時間)
	11	サブページ作成(MAPの埋め込み)					作業内容の確認と不明点の質問準備をしておくこと(1時間)
	12	Webサイトの調整					Webサイトの最終調整を完了させておくこと(1時間)
	13	CSSの基本と作成					授業内容を復習し、わからない用語等は調べておくこと(1時間)
	14	CSSの基本(HTMLへの反映)					次回授業までに制作作業を完了させておくこと(1時間)
	15	サンプルWebサイトの最終調整と完成					指定期日までにサンプルWebサイトを完成させること(1～2時間)
評価方法	(1)制作物の完成度にて評価。(2)出席状況と作業の取組み姿勢を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	制作物の完成度		◎	○			80%
	出席状況・作業の取組み姿勢				◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位認定をしない。						

科目名	海外観光地理ⅡA											
科目名(英)	Overseas tourism geography ⅡA											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		大岡 牧代			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	旅行業界および旅行関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、日本からの渡航者が多いヨーロッパ主要国の観光地理についての知識を習得する。											
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					ヨーロッパ主要国およびそれらの首都の名称と位置が把握できている。						
	○					ヨーロッパ主要国の使用言語や使用通貨など国の概要を説明することができる。						
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。						
	○					ヨーロッパ主要国の観光資源を1か国につき15以上挙げることができる。						
				○		各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。						
テキスト・教材 参考図書	旅行実務シリーズ「海外観光資源」 JTB総合研究所 「旅に出たくなる地図 世界」 帝国書院											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	観光資源とは、世界遺産について					授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索してイメージをつかむこと。(0.5時間)					
	2	海外観光地理学習のコツ					ヨーロッパの主要国を地図帳で確認すること。(0.5時間)					
	3	イタリアの観光資源① ― 国の概要、イタリア中部～南部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	4	イタリアの観光資源② ― イタリア北部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	5	スペインの観光資源① ― 国の概要、スペイン中部～南部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	6	スペインの観光資源② ― スペイン南部・北部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	7	イギリスの観光資源① ― 国の概要、イギリス南部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	8	イギリスの観光資源② ― イギリス中部～北部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	9	フランスの観光資源① ― 国の概要、フランス中部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	10	フランスの観光資源② ― フランス北部・南部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	11	ドイツの観光資源① ― 国の概要、ドイツ北部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	12	ドイツの観光資源② ― ドイツ南部					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	13	スイスの観光資源 ― 国の概要、スイス全域					授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)					
	14	映像作品の中の観光資源					ヨーロッパがロケ地となった映画やTV番組、YouTubeなどを鑑賞してみること。(1時間)					
15	ヨーロッパ主要各国の基礎知識と観光資源のまとめ					前期期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておくこと(2時間)						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題提出を1回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎		◎								70%
	課題	◎		◎				◎				30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	旅行商品分析A											
科目名(英)	Planning Articles Analysis											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		松藤 諭			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		旅行会社で営業、添乗、管理業務			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	旅行会社の販売上の基本的なツールである海外企画商品パンフレットの内容を理解し、正確に顧客に 伝えることを学ぶ。企画商品の販売上の注意点並びに海外諸国の注意点も理解できるように学ぶ。											
授業形式	講義： △		演習： ○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標						
	○	○				海外企画商品の約款上の注意点を理解し 顧客に案内できる。						
	○	○				海外企画商品パンフレット注目点、特徴、セールスポイントを案内できる。						
	○	○				海外企画商品のケーススタディ演習、旅行の税金関係、旅行代金の算出ができる						
テキスト・教材 参考図書	海外企画商品パンフレット(旅行会社)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	授業の進め方、シラバス説明、海外企画商品とは何に										
	2	韓国企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	3	韓国企画商品ケーススタディ演習①					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	4	韓国企画商品ケーススタディ演習②					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	5	ハワイ・グアム企画商品パンフレットを読む、特徴、セールスポイント					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	6	ハワイ・グアム企画商品ケーススタディ演習①					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	7	ハワイ・グアム企画商品ケーススタディ演習②					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	8	ハワイ・グアム企画商品ケーススタディ演習③					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	9	確認テスト(韓国・ハワイ)					今までの授業の復習、主に旅行代金算出演習をしておくこと(1時間)					
	10	東南アジア企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	11	東南企画商品ケーススタディ演習①					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	12	ヨーロッパ企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	13	ヨーロッパ企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	14	ヨーロッパ企画商品ケーススタディ演習①					事前に課題のパンフレットを読んでおくこと(0.5時間)					
	15	確認テスト(東南アジア、ヨーロッパ)					今までの授業の復習、主に旅行代金算出演習をしておくこと(1時間)					
評価方法	(1)授業の中で小テスト(確認テスト)を2回実施。 (2)授業の中でケーススタディ演習を実施し、発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	小テスト(確認テスト)		○		○						40%	
	演習、課題の発表		○		○						40%	
	授業中の発表		○				○				20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。											

科目名	接客業務応用						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	若松 昌枝	
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務	
対象学科・学年	トラベル科2年						
授業概要	1年次の「接客業務基礎」にを基に、ロールプレイング演習を繰り返すことで、お客様の要望を引き出すためのトークや、振る舞い、お客様への配慮について学ぶ。また、コロナ禍により、オンラインでの接客も増加しているため、リモート会議ソフトを使用した、打合せや旅行相談の接客演習も行う。最終的には、「接客スキルコンテスト」にて、学習した内容を披露することとする。						
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				旅行パンフレットを使用して、交通機関や宿泊施設、旅行代金の案内ができる。	
	○	○		○		お客様の要望を引き出すためのトークや質問をすることができる。	
	○	○				リモート会議ソフトを使用した接客の際に、配慮すべきポイントを5つ挙げることができる。	
	○			○		お客様役の立場から、旅行スタッフ役をした学生の、良かったところを挙げることができる。	
			○	○		「接客スキルコンテスト」に向けた準備をすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行パンフレット JR時刻表						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「接客業務基礎」で学んだことの復習 旅行会社での対面販売の現状について				現在の主力商品のリサーチをしておくこと(1時間)	
	2	対面ロールプレイング① (ビジネスプラン JR利用)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	3	対面ロールプレイング② (ビジネスプラン AIR利用)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	4	対面ロールプレイング③ (テーマパーク)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	5	対面ロールプレイング④ (沖縄・北海道 感想)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	6	対面ロールプレイング⑤ (自由課題 感想)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	7	オンライン接客① (対面との違い、配慮すべきこと)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	8	オンライン接客② (旅行相談演習)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	9	オンライン接客③ (旅行プランを使っのロールプレイング 基本)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	10	オンライン接客④ (旅行プランを使っのロールプレイング 応用)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	11	総まとめ (これまでの復習とまとめ)				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	12	「接客スキルコンテスト」の概要と役割分担				学習した内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	13	「接客スキルコンテスト」 準備①				コンテストへ向けた準備をしておくこと(1時間)	
	14	「接客スキルコンテスト」 準備②				コンテストへ向けた準備をしておくこと(1時間)	
	15	「接客スキルコンテスト」 (リハーサルと評価試験)				コンテストへ向けた準備をしておくこと(1時間)	
評価方法	(1)ロールプレイングでの実技評価試験を行う。(評価のポイントは授業内で明示する。) (2)レポート提出1回、お互いの接客について発表し合う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験	◎	◎	○	○		70%
	レポート・発表	○	○		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	AMADEUS					
科目名(英)	AMADEUS					
単位数	3単位		時間数	45時間	担当者	若松 昌枝
実施年度	2022年度		実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務
対象学科・学年	トラベル科2年					
授業概要	アマデウスシステムは、旅行・航空業界で使用される端末の1つである。この授業では、前年度に学習した航空会社コード(2レター)や都市コード・空港コード(3レター)を使用し、端末の操作を学ぶ。空席照会、タイムテーブル、予約記録の作成やキャンセルなどの操作方法を学び、アマデウスシステムにおける航空券予約に関する基本的な内容の習得を目指す。					
授業形式	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○	○			アマデウスシステムを使用し、旅程の空席照会をし、画面の説明ができる
		○	○			アマデウスシステムを使用し、スケジュールやタイムテーブルを確認することができる
		○	○			アマデウスシステムを使用し、PNRの作成やキャンセルをすることができる
		○	○			模擬問題を60分以内に解くことができる
		○	○			アマデウス検定初級(Specialist)に合格することができる
テキスト・教材 参考図書	「ユーザーガイド 予約」株式会社アマデウス・ジャパン					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	アマデウス概要説明 起動とサインイン、サインアウト				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	2	コード検索 (空港コード、航空会社コード、国コード)				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	3	情報検索 (日付、時刻検索、最低乗継時間)				確認テストの準備をしておくこと(0.5時間)
	4	コード検索、情報検索の確認テスト 空席照会				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	5	空席照会オプション ダイレクトアクセス				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	6	フライトスケジュール				確認テストの準備をしておくこと(0.5時間)
	7	タイムテーブル、アクセスレベル				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	8	PNR作成 (空席照会、フライト予約、ヘボン式ローマ字)				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	9	PNR作成 (乗継フライト予約、ネーム入力)				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	10	PNR作成 (小児・幼児入力) PNRの中断、再表示				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	11	PNRの中断、再表示				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	12	PNR作成 (項目のキャンセル、ARNK)				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	13	SSR (ミール、フリークエントフライヤー)				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	14	SSR (シートマップ)、OSI				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	15	SSR、OSIの追加、PNR項目のキャンセル、ヒストリー確認				テストの復習をしておくこと(0.5時間)
	16	PNR作成テスト実施 解答、解説				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	17	PNRの修正、変更				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	18	PNRの分割				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	19	PNRのコピー				確認テストの準備をしておくこと(0.5時間)
	20	時間を計測してのPNR作成テスト 解答・解説				授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)
	21	模擬試験1回目				模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1時間)
	22	模擬試験2回目				模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1時間)
	23	定期試験(実技)				模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1時間)

評価方法	(1)確認テストを実施する (2)定期試験(実技)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	確認テスト	○	◎	◎	○	20%
	定期試験(実技)		◎	◎		80%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡA				
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ⅡA				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田 菜穂/野々村 賢一
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	和田:外資系航空会社にて客室乗務員として勤務
対象学科・学年	トラベル科2年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
目標					
社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の業務に関連する議論の流れ、結論の理由が理解できる。 ・新製品がどういった点で従来のものよりも優れているのかについての説明を理解できる。					
社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
テキスト・教材 参考図書					
TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	導入テスト 解法解説			
	2	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	3	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	4	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	5	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	6	TOEIC模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	7	TOEIC模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	8	TOEIC模擬試験 問題1 解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	9	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	10	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	11	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	12	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	13	TOEIC模擬試験 問題2 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	14	TOEIC模擬試験 問題2 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	15	TOEIC模擬試験 問題2 解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	16	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	17	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	18	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	19	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	20	TOEIC模擬試験 問題3 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	21	TOEIC模擬試験 問題3 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	22	TOEIC模擬試験 問題3 解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	23	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	24	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	25	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	26	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

	27	TOEIC模擬試験 問題4 筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	TOEIC模擬試験 問題4 リスニング 解答＆解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	TOEIC模擬試験 問題4 解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡA				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡA				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	石田 小雪/岡本 彩
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	石田:語学教育企業にて数か国のネイティブと勤務
対象学科・学年	トラベル科2年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト 直前の技術、TOEICテスト新形式精選模試L&R				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検模擬試験 問題1 解答&解説大問1、2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検模擬試験 問題1 解答&解説大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検模擬試験 問題1 モデルライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part2、Part5			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	new class オリエンテーション、英検攻略法、英検リーディング(短文の語句空所補充)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡA				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡA				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	石志 正雄
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系翻訳会社にて勤務
対象学科・学年	トラベル科2年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			目標 説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○			与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問、TOEIC公式問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			
	2	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検本試験解説 モデルライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ニューツーリズム概論											
科目名(英)	New Tourism Introduction											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		高橋 榮二			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		旅行会社にて、旅行企画及び 法人営業に従事			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	観光庁が推進するニューツーリズムについての理解を深め、旅行業の次のビジネスモデルへ繋げる事例を学ぶ。 各地域の観光協会等の取組み事例を学び、着地型観光のノウハウを吸収する。											
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					各種ニューツーリズムの特長を学び概要を説明できる。						
		○				各地域の実態に即したプランの作成ができる。						
		○		○		作成したプランのポイントを含め、プレゼンテーションができる。						
テキスト・教材 参考図書	観光庁ホームページ (http://www.mlit.go.jp/kankocho/) 各都道府県 観光協会ホームページ											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	ニューツーリズムの概要					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	2	エコツーリズム (プラン作成・プレゼンテーション)					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	3	グリーンツーリズム (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	4	ヘルスツーリズム (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	5	ロングステイ (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	6	文化観光、産業観光 (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	7	スポーツツーリズム (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	8	山旅・登山・ウォーキング (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	9	街歩き (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	10	交流は世の中をよくできるか (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	11	国立公園満喫プラン (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	12	観光型Maas (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	13	未来の旅 空飛ぶクルマ・海中旅行 (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	14	未来のお店のカタチ (")					授業で使用了た資料の復習(0.5時間)					
	15	ニューツーリズムのまとめ					授業全体の振り返り(1時間)					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) プラン作成とプレゼンテーションを実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)		○		◎						70%	
	発表・作品				◎		○				30%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	総合旅行業務取扱管理者対策補講Ⅱ											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		大岡 牧代			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事			
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	この授業では、総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す学生を対象に、国家試験科目の一部である「国際航空運賃計算」と「国際航空運送約款」について講義および演習を行う。旅行業界ならびに旅行関連業界で必要な国際航空に関する知識と運賃計算技能を習得し、国家試験において合格基準である6割以上の得点を目指す。											
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○				国際航空運賃計算に必要な語句や運賃計算のしくみを説明することができる。						
	○	○				国際航空運賃計算の手順を理解し、正しく計算することができる。						
	○	○				総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」科目における「国際航空運賃計算」分野で6割以上得点することができる。						
	○	○				国際航空運送約款の重要語句・数字等を暗記し、4肢択一や正誤判断問題を正確に解くことができる。						
	○	○				総合旅行業務取扱管理者試験の「旅行業約款、運送および宿泊約款」科目において6割以上得点することができる。						
テキスト・教材 参考図書	「U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン」 ユーキャン自由国民社 総合旅行業務取扱管理者 国家試験過去問題											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	総合旅行業務取扱管理者試験の概要と科目・分野 国際航空運賃の基礎知識					国家試験の概要と科目・分野を再確認すること。 学習範囲を復習し、用語を覚えること。(1時間)					
	2	eチケットお客様控えの見方					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	3	IATAエリア(TC)とグローバルインディケーター(GI)					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	4	タリフの見方、旅行形態					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	5	国際航空運賃①(計算手順、往復旅行)					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	6	国際航空運賃②(周回旅行)					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	7	国際航空運賃③(オープンジョー旅行 ― OJ計算)					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	8	国際航空運賃④(オープンジョー旅行 ― みなし計算)					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	9	国際航空運賃⑤(特別運賃)					学習範囲を復習し、用語を覚えること。 課題プリントを解くこと。(1時間)					
	10	国際航空運賃計算問題演習①					学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)					
	11	国際航空運賃計算問題演習②					学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)					
	12	国際航空運賃計算問題演習③					学習範囲を復習し、課題を解くこと。(1時間)					
	13	国際航空運送約款					学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1.5時間)					
	14	国際航空運送約款、旅行業約款渡航手続代行契約の部					学習範囲の重要語句を暗記し、課題を解くこと。(1.5時間)					
	15	国際航空運賃計算まとめテスト					国家試験に向けて、学習範囲の復習をし、演習問題を解き直しておくこと。(2時間)					
評価方法	(1)授業内で配布する課題プリントを回収し、理解度の確認と評価を行う。 (2)理解度と計算技能をはかるための小テスト・模擬試験を複数回実施する。 以上を、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点)											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	課題プリント	◎		◎				◎				30%
	小テスト・模擬試験	◎		◎								70%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。											

科目名	一般教養ⅡA											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		瀧口 恵子			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	旅行業界における就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の養成を行う。											
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					漢字検定2級程度の漢字の読書ができる。						
	○					計算問題を中心に正確に解答することができる。						
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる。						
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することができる。						
	○					数学の文章問題・四則演算に限られた時間の中で解答することができる。						
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	科目概要・シラバス説明、第5回実力テスト										
	2	第1回：世界史、英語、SPI(玉手箱、分割払い)					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	3	第1回：数学、第2回：社会、SPI(玉手箱、分割払い)					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	4	第2回：英語、数学、SPI：割引料金と精算、仕事算					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	5	第3回：社会、SPI：割合、損益算					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	6	第3回：数学、英語、SPI：損益算、速度算					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	7	第4回：数学、社会、英語、SPI：速度算、集合					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	8	第5回：数学、英語、社会					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	9	第6回：社会、英語、SPI：集合、推論					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	10	第7回：社会、英語、数学、SPI：推論					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	11	第8回：社会、英語、数学、SPI：推論、四則演算					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	12	第9回：英語、数学、社会、SPI：四則演算、割合					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	13	第10回：数学、社会、英語					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	14	第10回：英語、SPI：売買分割、推理、順列・組み合わせ					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
	15	まとめ：前期試験範囲振り返りと対策					テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)					
評価方法	(1)定期試験(筆記) (2)小テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験(筆記)	◎						○				80%
	小テスト	◎						○				10%
	出席状況	◎						○				10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	手話入門											
科目名(英)	Sign language											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		平嶋 光希			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	手話入門編として、視覚的にものをとらえる工夫や、様々な手段を使って、聴覚障がい者に伝えあうことを学ぶ。手話の基本(指文字・挨拶・数字等)を身に付ける。											
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○					聴覚障がいの基礎知識を身につけることができる。						
	○					聴覚障がい者の生活を理解することができる。						
		○	○			手話の基本を身につけることができる。						
テキスト・教材 参考図書	手話技能検定5、6、7級に向けてのプリント											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	伝え合う。名前の紹介 基礎の学習 指文字 ①挨拶										
	2	伝え合う。名前の紹介 基礎演習 漢字 ②天気						授業内容の復習(0.5時間)				
	3	伝え合う。名前の紹介 応用演習 ③疑問						授業内容の復習(0.5時間)				
	4	家族の紹介 ⑦人 ⑧家族 ⑩方角						授業内容の復習(0.5時間)				
	5	数を使って話す、伝え合う ④数字 ⑨色						授業内容の復習(0.5時間)				
	6	趣味について話す、伝え合う ⑪感情						授業内容の復習(0.5時間)				
	7	仕事について話す、伝え合う ⑫動作						授業内容の復習(0.5時間)				
	8	1日のことについて話す、伝え合う ⑤1週間の曜日 ⑥日・週・年						授業内容の復習(0.5時間)				
	9	自己紹介(実技) 指文字の確認テスト						授業内容の復習(0.5時間)				
	10	5－1 疑問と時間 質疑応答						授業内容の復習(0.5時間)				
	11	5－2 自然に関する単語と家族・仕事・趣味						授業内容の復習(0.5時間)				
	12	5－3 程度を示す単語						授業内容の復習(0.5時間)				
	13	5－4 基本動詞 話題提供						自己紹介実技試験の準備(1時間)				
	14	5－5 形容詞						確認試験前の復習と事前対策(2時間)				
	15	確認テスト(読取)										
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(筆記3回・実技3回) (2)レポートを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	小テスト(筆記)3回		◎		○						30%	
	小テスト(実技)3回				◎						60%	
	レポート						◎				10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。											

科目名	ビジネス実務Ⅱ									
科目名(英)	Business Ability Test Ⅱ									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		榎本 美和子	
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験		旅行・航空業界にて接客業を経験	
対象学科・学年	トラベル科2年									
授業概要	7月に実施されるビジネス能力検定3級の取得を目標に、テキストを基本に講義と過去問題演習を通じ、社会人としてのスキルを身に付ける。									
授業形式	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					ビジネス用語の意味を理解、覚えることができる。				
		○				ビジネスマナーを身に付けることができる。				
		○				過去問題演習を通し、解き方のコツを覚えることができる。				
				○		社会人として積極的に人間関係を築き、コミュニケーション能力を高めることができる。				
テキスト・教材 参考図書	ウィネット 実践ビジネスマナー 日本能率協会マネジメント ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	授業ガイダンス・ビジネス能力検定概要・ビジネス用語・ケース問題					ビジネス用語を覚える(0.5時間)			
	2	ビジネス用語・新聞の読み方・情報収集					ビジネス用語を覚える(0.5時間)			
	3	ビジネス用語・統計データの読み方					ビジネス用語を覚える(0.5時間)			
	4	ビジネス用語・ビジネス文書・8つの意識					ビジネス用語を覚える(0.5時間)			
	5	ビジネス用語・コミュニケーションとビジネスマナーの基本					ビジネス用語を覚える(0.5時間)			
	6	ビジネス用語・コミュニケーションとビジネスマナーの基本					ビジネス用語を覚える(0.5時間)			
	7	過去問題 解答 ①・ビジネス用語(1回目)					ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)			
	8	過去問題 解答 ②・ビジネス用語(2回目)					ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)			
	9	過去問題 解答 ③・ビジネス用語(3回目)					ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)			
	10	過去問題 解答 ④・ビジネス用語(4回目)					ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)			
	11	過去問題 解答 ⑤・ビジネス用語(5回目)					ビジネス用語を覚える・誤答の復習(0.5時間)			
	12	本試験 答え合わせ								
	13	冠婚葬祭(ロールプレ)								
	14	社会人として大切なこと								
	15	講義の総まとめ								
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)ビジネス用語小テスト(5回) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験(筆記)	◎	○				70%			
	小テスト(5回)	◎	◎				30%			
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	社会教養ⅡA										
科目名(英)	Social StudyⅡA										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者				
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	トラベル科2年										
授業概要	就職活動の基本を理解し、就職活動準備や就職試験対策(履歴書作成・エントリーシート作成、面接対策など)を行い、希望業界・企業、希望職種への内定を目指す										
授業形式	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
				○		就職活動のための準備(企業研究、履歴書・エントリーシート作成)をすることができる					
				○		就職試験対策(筆記試験、面接練習)の管理ができるようになる					
テキスト・教材 参考図書	「就職活動ガイドブック」 学校法人 麻生塾										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	就職情報伝達目標設定					自分の就職の方向性を考えておくこと(0.5時間)				
	2	企業研究の仕方の説明					企業名を調べておくこと(0.5時間)				
	3	就職活動指導－就職斡旋規定の確認と理解					就職ノートを準備しておくこと(0.5時間)				
	4	就職活動指導－求人票の見方					ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)				
	5	就職活動指導－履歴書、エントリーシートの書き方指導					ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)				
	6	就職活動指導－面接の種類について					ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)				
	7	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	8	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	9	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	10	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	11	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	12	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	13	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	14	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策					就職受験準備をしておくこと(2時間)				
	15	前期の振り返り					ノートの記入内容を復習しておくこと(0.5時間)				
評価方法	1)出席状況を意欲点として評価 (2)提出物(志望動機、自己PRなど) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	出席状況							○			80%
	提出物							○			20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。										

科目名	韓国語基礎											
科目名(英)	Korean language											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		盧 愛蓮			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	トラベル科2年											
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に、就職活動に役立つような実力を身に付けると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるように指導する。											
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標						
	○	○				ハングル文字のつくりを理解し、書くことができる。						
	○					地名、名称、会話関連の単語の意味を説明することができる。						
		○				自己紹介や文章作成をすることができる。						
テキスト・教材 参考図書	木内明著「基礎から学ぶ 韓国語講座 初級」国書刊行会											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	韓国語について、文字の仕組み、基本挨拶、返事、基本母音										
	2	復習 基本子音、子音と母音を組合せ文字づくり					授業内容の復習(0.5時間)					
	3	復習 基本子、音、子音と母音を組合せ文字づくり、複合母音					授業内容の復習(0.5時間)					
	4	文字づくり学習の為のテスト。十分に理解でき、慣れるまでテスト					授業内容の復習(0.5時間)					
	5	基礎続き 文字仕組み パッチム					授業内容の復習(0.5時間)					
	6	基礎続き 文字仕組み パッチム 単語まとめ					授業内容の復習(0.5時間)					
	7	基礎 発音変化 その1					授業内容の復習(0.5時間)					
	8	基礎 発音変化 その2 単語まとめ小テスト					授業内容の復習(0.5時間)					
	9	1課 ～です、挨拶、簡単な自己紹介（基礎単語確認）					授業内容の復習(0.5時間)					
	10	復習 1課 続き、練習問題 ボキャブラリーバンク					授業内容の復習(0.5時間)					
	11	2課 ですかを含む自己紹介の続き、練習問題					授業内容の復習(0.5時間)					
	12	復習 2課 続き、練習問題、ボキャブラリーバンク(家族の呼称)					授業内容の復習(0.5時間)					
	13	3課 否定文 ～ではありません、か。(1, 2課まとめ小テスト)					授業内容の復習(0.5時間)					
	14	3課 続き 練習問題 ボキャブラリーバンク					前期総復習とテスト対策学習(2時間)					
	15	前期学習分総まとめ 期末テスト対策										
評価方法	(1)授業中に小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	小テスト				◎				○			50%
	定期試験(筆記)				◎							50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。											

科目名	GCB II							
科目名(英)	Global Citizen Basic II							
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者		
実施年度	2022年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	トラベル科2年							
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。							
授業形式	講義： ○		演習： △		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンと“志”					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	3	自己を知る					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	4	伝える力を学ぶⅠ～プレゼンテーション～					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	5	伝える力を学ぶⅡ～グループコミュニケーション～					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)					振り返りレポートの作成(0.5時間)	
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	レポート作成・発表				◎		100%	
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。							